

Short シスプラチン+エトポシド療法

＋ 大津赤十字病院 薬剤部

【治療スケジュール】

以下のメニューのおくすりを3週間毎繰り返します。

				← 1クール →				
				第1日目	2日	3日	4日	5～ 21日
薬剤名	外観	液色	薬効	投与方法	点滴	点滴	点滴	点滴
① パロノセトロンバッグ アロカリス注 デカドロン注		無色	むかつき、吐き気及びお薬の過敏症を抑えます。	↓ 30分・点滴	お休み	お休み	お休み	お休み
② 生食注		無色	水分補給します。	↓ 全開・点滴	↓	↓		
③ ペプシド注 [®] (エトポシド)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓ 1.5時間・点滴	↓	↓		
④ 生食注		無色	水分補給します。	↓ 全開・点滴	↓	↓		
⑤ ソリタT1 アスパラギン酸カリウム 硫酸マグネシウム		黄色	水分・電解質を補給します。	↓ 1時間・点滴	お休み	お休み	お休み	お休み
⑥ マンニトール		無色	尿を出しやすくします。	↓ 30分・点滴				
⑦ シスプラチン注 [®] (シスプラチン)		無色	細胞増殖を抑えます。	↓ 1時間・点滴				
⑧ ソルデム3A輸液		無色	水分補給します。	↓ 1時間・点滴				
⑨ ペグフィルグラスチム注		無色	発熱性好中球減少症の予防。	皮下注射			↓	

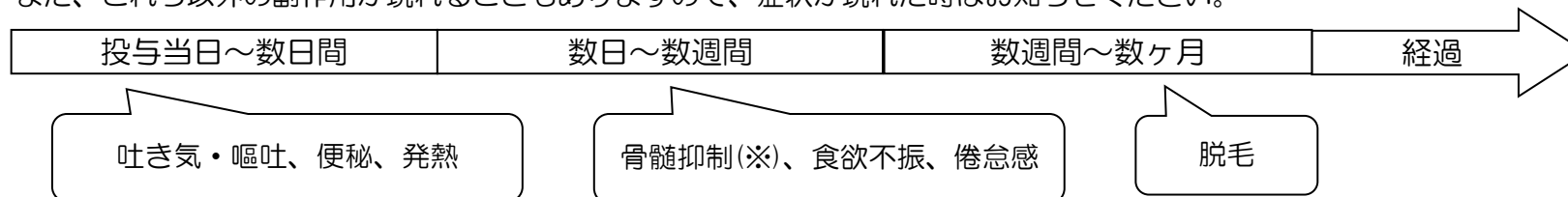
※お薬の投与速度・投与間隔が変わることがあります。また、症状に応じてお薬を変更・追加・削除することがあります。

【注意事項】

点滴中は安静にし、注射の針を刺している部分が動かないように心掛けてください。
お薬が皮膚に漏れると、針を刺している部分に違和感や痛み、腫れ、赤み等が現れることがあります。
このような症状がありましたら速やかにお知らせください。
また、このような症状は点滴終了後や、しばらくたってから起こることがありますのでご注意ください。
腎臓の機能を守る為、点滴の投与日から3日間は水分を1L補給し、こまめに排尿するように心掛けてください。
特に、シスプラチンを投与する日は、シスプラチン投与終了時まで1Lの水分摂取をしてください。
なお、脱水症状および食事摂取量が減るなどの症状がある場合は、追加で点滴をすることがあります。

【副作用と発現時期】

ここにはあくまで一般的に予想される副作用が、いつごろ現れるかをお示ししています。
これらの症状が必ず起こるということではありません。発現頻度・程度・時期には個人差があります。
また、これら以外の副作用が現れることもありますので、症状が現れた時はお知らせください。



※骨髄は、血液成分である白血球・赤血球・血小板等を産生する臓器です。
骨髄抑制とは、その機能が低下することを言います。

【注意が必要な副作用】

次に示すような副作用が報告されています。下記の症状が現れた時は医師または薬剤師へお知らせください。

- 骨髄抑制 : ★38℃以上の発熱、咳、下痢、排尿痛・残尿感、性器痛、肛門痛、鼻血、血便・血尿、歯茎出血、腕や足の赤い斑点、疲れやすい、めまい・息切れ
- 過敏症 : ★呼吸困難、じん麻疹、眼および口の周囲の腫れ、冷汗、頻脈
- 消化器症状 : ★突然の激しい腹痛、背部痛、重度の下痢、脱水症状、もたれ、胸やけ、吐き気、嘔吐、食欲不振
- 心障害 : ★呼吸困難、足などのむくみ、咳の増加、胸痛、みぞおちや頸部の締め付け、圧迫感、冷汗
- 腎障害 : ★顔・手足などのむくみ、尿量減少、尿が赤みを帯びる、体重減少、口の渇き、高度の蛋白尿
- 肝障害 : ★全身倦怠感、食欲不振、疲れやすい、腹部不快感、黄疸(皮膚や眼などが黄色くなる)
- 脳障害 : ★突然の激しい頭痛、意識障害、歩行時のふらつき、四肢末端のしびれ感、舌のもつれ、うまく話せない、けいれん発作、精神状態変化、視覚異常
- 肺障害 : ★胸痛、意識障害、呼吸困難、(空)咳、発汗、発熱、ピンク色の痰がでる、尿量減少、むくみ
- 抗利尿ホルモン不適合分泌不全 : ★全身倦怠感、無気力、眠気、意識障害、昏睡
- 横紋筋融解症 : ★筋肉が痛い、手足に力が入らない、尿が赤褐色になる
- 視覚障害 : ★視力低下、視野異常、色覚異常
- 聴力障害 : ★耳が聞こえにくい、耳鳴り、高音が聞こえにくい

連絡先 大津赤十字病院

TEL 077-522-4131

平日8:30 ～ 17:00 受診されている診療科
平日17:00 ～ 翌8:30 及び 休日 救急外来

2026/8改訂